

夏の
風物詩

小瀬鵜飼

5月11日(日)開幕～10月15日(水)

奥長良川
県立自然公園

小瀬長良川河畔にて



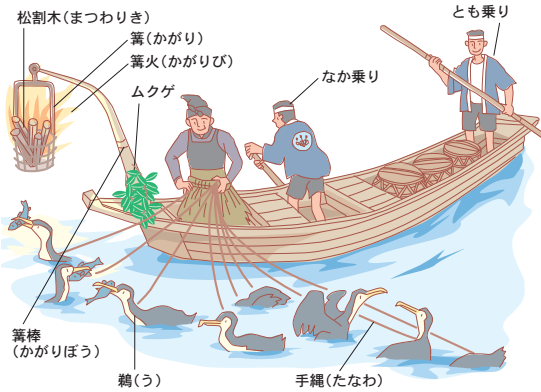
〈照会先〉 関市観光協会
☎ 22-3131

清流長良川河畔、小瀬鮎ノ瀬の里で繰り広げられる小瀬鵜飼は、一千有余年の歴史をもつ伝統漁法。風折烏帽子に腰蓑といった、昔から変わらぬ衣装を身にまとった鵜匠が、篝火を頼りに見事な手縄さばきで鵜を操る姿は実に美しく幻想的です。

このダイナミックで幽玄な夏の風物詩「小瀬鵜飼」を、風流な屋形船に乗って目の前で楽しむことができます。

図解 小瀬鶺鴒のヒミツ

小瀬鶺鴒の主演は鶺鴒。操る鶺鴒匠とともに、とも乗り、なか乗りが鶺鴒舟に乗ります。この3人が1組となり、鮎を捕りながら川を下っていきます。



- 鶺鴒 舟…全長11メートルの鶺鴒匠の舟。鶺鴒匠となか乗り、とも乗りが乗る。
- とも乗り…鶺鴒舟を操る責任者。
- なか乗り…鶺鴒匠、とも乗りの助手。
- 篝 火…照明のため、松割木を燃やす。
- 手 縄…鶺鴒匠は手縄が絡み合わないよう上手にさばいて鶺鴒を操る。
- ムクゲ…篝棒のすべりをよくするため、ムクゲが使われる。

小瀬の鶺鴒はひと味違う

小瀬鶺鴒の魅力は、なんといっても古式ゆかしいその風情…。周りには人工的な明かりがほとんどなく、漆黒の闇のなかに篝火の炎だけが赤々と浮かびます。静寂の中で聞こえてくるのは舟を漕ぐ音と鶺鴒匠の声、そして鶺鴒の放つ水しぶきの音だけです。

小瀬鶺鴒の特徴は、鶺鴒舟に屋形船が沿うように近づき間近で見られる「狩り下り」。一度下った鶺鴒舟が、川岸に付けた屋形船の前をもう一度通り過ぎる「付け見せ」も行き、鶺鴒を存分に楽しめるのです。



申し込みと料金

鶺鴒の観覧には予約が必要です。申込・照会先は関遊船(株)事務所(☎2506・13時以降☎7980)、または関遊船登録店(関観光ホテル☎1166、鶺鴒の家 足立☎2079、鶺鴒の家 岩佐☎1862)。

遊船料金表 (消費税込み)	
貸切料金	10人乗屋形船 26,000円 20人乗屋形船 48,000円
乗合料金	大人 3,150円 小人(小学生以下) 2,600円

※弁当の手配もできます。持込みは料金がかかります。

鶺鴒が捕った鮎を目の前で見ることもできます



仕事を終えた鶺鴒たちは鳥屋へ



お得な鶺鴒パック

- ◆ 小瀬鶺鴒を手軽に楽しむことができる、お値打ちな「鶺鴒パック」があります。この鶺鴒パックには乗合遊船料と弁当と飲み物が含まれていますので、この機会に仲間や家族でぜひ、ご利用ください。
- ◆ 期間 5月12日(月)～6月30日(月)
- ◆ 料金 大人5250円※弁当・飲み物付
- ◆ 申込先 乗船希望日の5日前までに、関遊船(株)事務所へ

親子ふれあい鶺鴒

- ◆ 鶺鴒を子どもたちにも知ってもらおうと、「親子ふれあい鶺鴒」が行われます。郷土の伝統と文化を親子そろって体験してみませんか。
- ◆ 開催日 5月30日(金)・6月27日(金)・8月25日(月)
- ◆ 料金 親子2人で4200円(子どもは小学生以下)
- ◆ 申込先 乗船希望日の5日前までに、関遊船(株)事務所へ
- ◆ 最小催行人数 10人